



Voice of Blooming講座

～潜在意識の声を味方につけて、他人の人生を開花に導く～

参加にあたってのお願い



カメラはオン
マイクは発言以外はオフ



リラックスして参加
飲食自由、トイレ遠慮せず



今に集中！



うすめの法則



う → うなずく

す → スマイル (笑顔)

め → メモをとる、チャットに書く





う → うなずく

す → スマイル（笑顔）

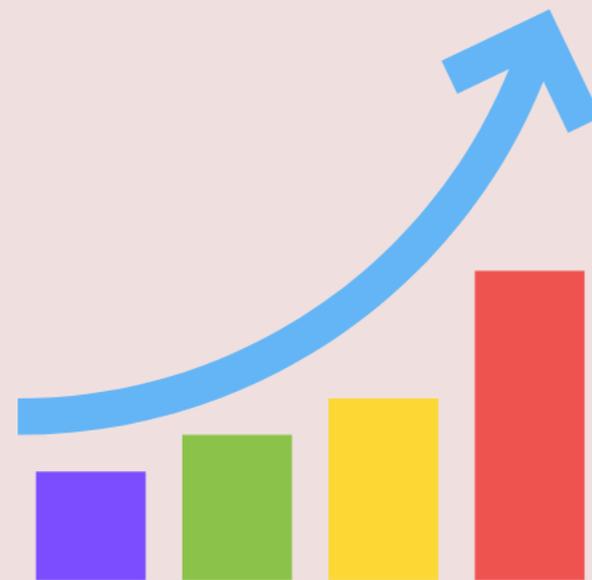
め → メモをとる、チャットに書く

学びの吸収率が 9 ~ 12 倍にアップするから

ただ聞いているだけだと → **6%**

アウトプットすると → **54%**

実践すると → **75%**



Voice of Blooming 講座へようこそ

～潜在意識の声を味方につけて、他人の人生を開花に導く～

他人の内なる声(潜在意識の声)を

引き出すスキルを身につけて

その人にとっての最適解を引き出し

その方それぞれの成幸の道に導き

他人も自分もさらに幸せになることが目的です。

用いる理論と手法:キネシオロジー、東洋医学、脳科学、心理学、コーチング

他人の潜在意識の声を
引き出せるようになる
【講義・実践】



葉・花・実がなる
成果・現実が変わる 【コーチング】

水やり・日光浴
心や体や魂を癒す 【セラピー】

根っこ
根本的な原因 【カウンセリング】



得られること



相手にとっての
最適解を引き出せる



その方それぞれの
成幸の道に
導くことができる



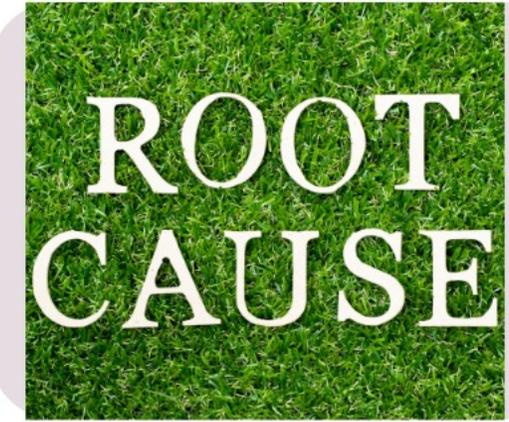
TRUST

お客さまと深く繋がる
ことができ、信頼関係
をより築ける



YES
I
CAN

自分のスキルに確信
が持て、お客さまの喜
びをさらに実感できる



ROOT
CAUSE

その方のその時の問題
に合った原因や解決法
を導ける



自己紹介タイム

- ①名前、どこから参加していますか？
- ②今やっていること（仕事、趣味など）は？
- ③VOB講座（他人の潜在意識の声を引き出す）
に入った目的は？



私の思い・ビジョン

「大変」な時は、「大」きく「変」われるチャンス

自分一人ではここまで変わって成長できなかった

人との出会いで、人生が変わるキッカケを
もらい、幸転させてもらえてきている

「辛」い 1本たして 「幸」せ

ご縁のある方の人生が変わるキッカケとなる存在

私と出会えてよかったと思える存在

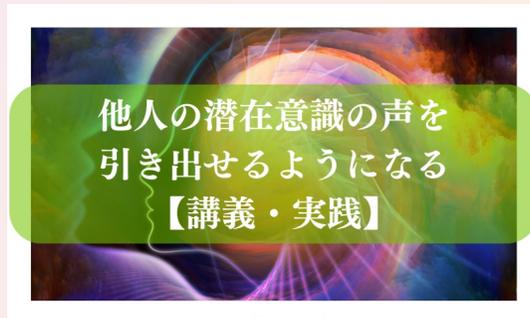
私もあなたも、身近な人たち、世の中を変える原動力

ぜひ、

「私」と「この講座で学ぶこと」を使い倒して欲しい！



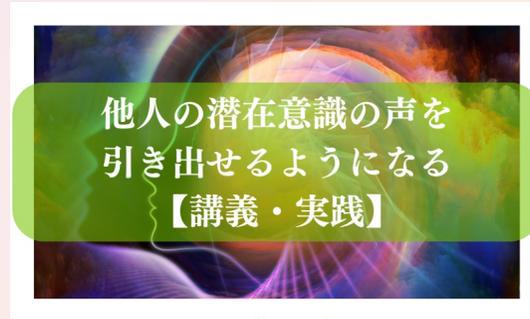
本日得られること



1 回目

- ①他人の答えを引き出すために知っておくべき大切な**マインド**（心構え）が理解できる。
- ②**座って**反応がとれる**筋肉反射テストの準備とやり方**を学び、実際に行うことで、**正しく反応が取れる**ことを実感できる。
- ③座って反応がとれる筋肉反射テストを、自分にも他人にも**活用できる基礎**が身につく。

内容



1 回目

- ① カウンセリングする時の大切なマインド（心構え）
- ② 座っての筋肉反射の前準備
- ③ 座っての筋肉反射のやり方と実践
- ④ 遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と実践



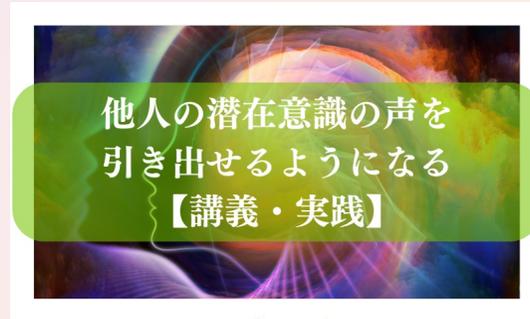
最後に、質疑応答の時間
途中でも質問があれば
遠慮なく聞いてください！



この時間が終わった時に、
どうなったら最高ですか？



内容



1 回目

- ① カウンセリングする時の大切なマインド（心構え）
- ② 座っての筋肉反射の前準備
- ③ 座っての筋肉反射のやり方と実践
- ④ 遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と実践



8つプラス番外編1つ
解説とワーク

カウンセリングする時の マインド（心構え）



質問

どういったことが大切だと思いますか？



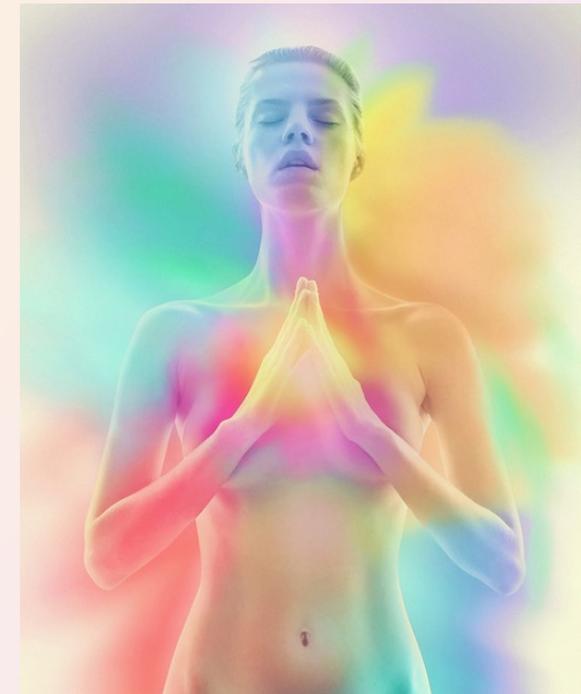


①常に自分自身のエネルギーを高める

人に対して貢献したい、喜んでもらいたいという人が多いので、自分自身を高めるということを意識しないと自分をないがしろにして、クライアントさんに与えすぎて疲弊してしまうところがある。だからこそ、常に自分自身のエネルギーを高めることが大切。



あなたのエネルギーを高める、満たす事は
どんな事ですか？





②志・理念を持ってカウンセリングする

キネシオロジーやカウンセリングのスキルなどに集中してしまうと、本来自分が何のためにクライアントさまにやっているのか見失ってしまう。

自分が何を届けたいのか、どんなあり方で接したいのか、どんなことを大切にしたいのかなど、志・理念を持って、そこを忘れないことが大切。



あなたは、どんな志・理念、想いを持ってクライアント様に接していきたいですか？





③クライアントと信頼できる関係を築く

クライアントと信頼できる関係を築かないと、相手は心を開いてくれない。身だしなみや背景や雰囲気なども、整えることで印象が違う。

人によっては言葉が出てくるのに時間がかかる人もいるので、焦らせず安心感を感じさせる言葉かけや配慮が信頼関係を築くことにつながる。



ワーク



クライアントさまに心を開いてもらうために

今の自分に必要なことは何ですか？



④クライアントをコントロールしようとし アドバイスではなくクライアントの心の通訳に徹する そして、気づきが得られるように

自分の意思、正義感や正しさみたいなものは傍に置いて、なぜその人はそういう選択をするのだろう、そういう行動をとるのだろうというところに寄り添ってあげるニュートラルな姿勢が大切。

自分からアドバイスしてあげなきゃではなく、相手が答えを持っているので、それを引き出すこと、自分はその通訳に徹してその人に必要な情報やメッセージを伝える。

クライアントさんが気づきが得られるよう、本人にも考えてもらって引き出し、問題の解き方を教えてあげる姿勢が大切。



⑤お互いに自己責任を持ってカウンセリングする

クライアントさんの問題はクライアントさんが解決するしかない。自分がその人の人生を変化させなきゃというマインド（姿勢）では、両方が共依存になって、自分も辛くなり、クライアントさんもどんどん依存が増していき、うまくいかない。依存ではなく、お互いに自己責任を持ってカウンセリングすることが大切。



⑥エゴではなく、信じる気持ちや愛を持って接する

その人を信じる。今はこういう状態だけど大丈夫と相手を信じる、いかに信じ続けられるかが大事。

なぜなら、人は、誰かから信じてもらうだけでエネルギーが湧いてきて、自信が持てたり行動につながったりするから。

「愛」とは、「心を受け入れる」こと。相手の心を受け入れる愛を持って接することが大事。





⑦クライアントを脅かすことはしない (生死や医療に関わる発言はしない)

キネシオロジーで寿命がわかったりすると言われていたが、今何もしない状態だと見えてくることもあるが、選択や行動で未来は変わっていくので、「あなたは何歳に死にますよ」といったクライアントを脅かすような不安にさせるようなことは絶対に言わない。

病気に関しても「治る」という発言は薬事法に引っかかるしトラブルの元になりかねないので、医療に関する発言もしない。

家族や信頼関係ができているお友達に対してはできることもある。



⑧クライアントの守秘義務を守る

個人が特定される形で誰かに言ったりSNSで発言・投稿したりはしない。家族間でも守秘義務を守る。

発言・投稿していいのは、「〇〇で悩んでいた〇代の〇性のお客さんがセッションを通して〇〇に変化して問題を解消して〇〇になりました」といった相手が特定されない事例ならオッケー。

本人からSNSに投稿してもOKと承諾もらった時は載せてもいい。



カウンセリングする時のマインド（心構え）



- ①常に自分自身のエネルギーを高める
- ②志・理念を持ってカウンセリングする
- ③クライアントと信頼できる関係を築く
- ④クライアントをコントロールしようとし
アドバイスではなくクライアントの心の通訳に徹する
そして、気づきが得られるように
- ⑤お互いに自己責任を持ってカウンセリングする
- ⑥エゴではなく、信じる気持ちや愛を持って接する
- ⑦クライアントを脅かすことはしない（生死や医療に関わる発言はしない）
- ⑧クライアントの守秘義務を守る





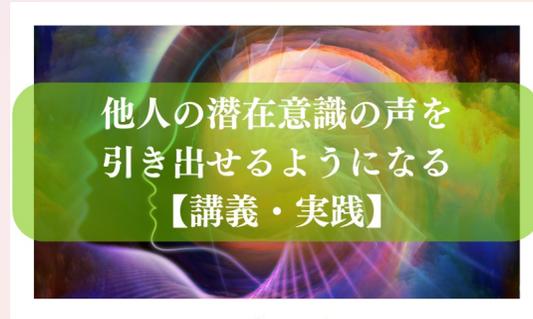
番外編 受講生同士で練習するときの マインド（心構え）

受ける立場として思ったことや感じたことを フィードバックする

なぜなら、実際の場合（本番）でクライアントさんにカウンセリングする
ときの糧になるから



内容



1 回目

- ①カウンセリングする時の大切なマインド（心構）
- ②座っての筋肉反射の前準備
- ③座っての筋肉反射のやり方と実践
- ④遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と





正しく筋反射がとれるために必要なこと

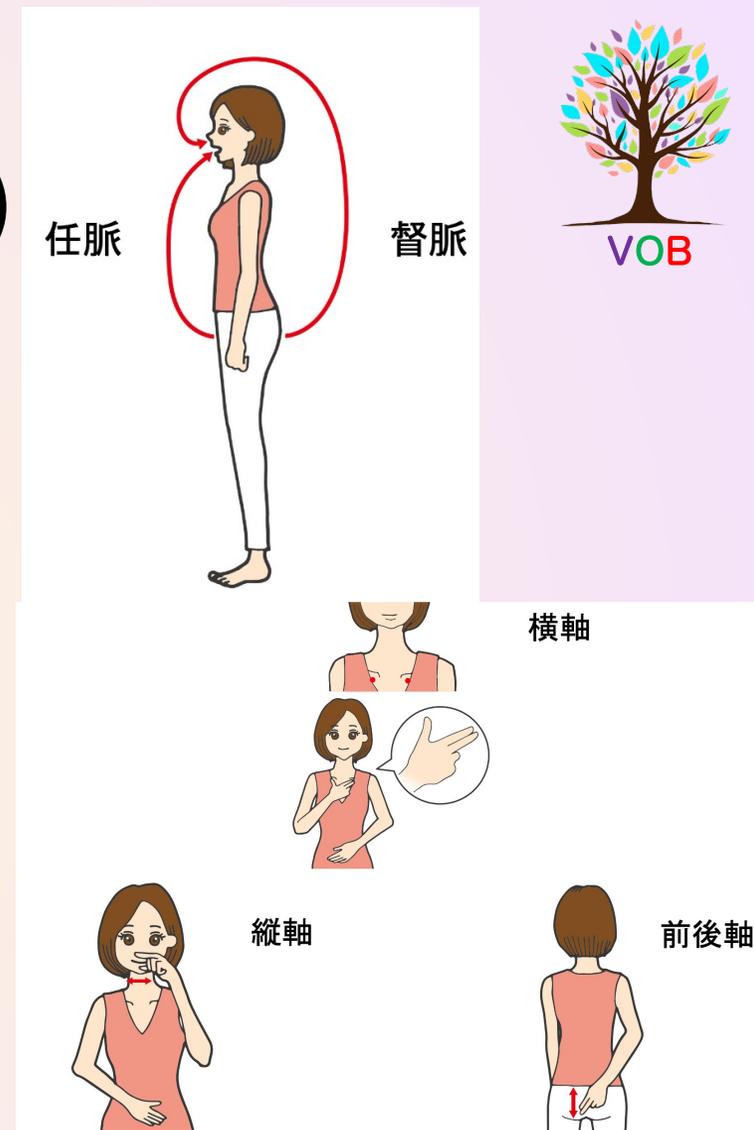
立ってとるセルフ筋反射を取る前の前準備として、6つの確認事項があります。

わかりますか？
(覚えていますか?)



筋反射の前準備 (立ってとるセルフ)

- ① ネックレスや指輪、時計など貴金属を外す
- ② 体を統括している**督脈**（行動のエネルギー）と**任脈**（選択のエネルギー）を整える
- ③ 体の**3軸**、横軸、縦軸、前後軸を整える
- ④ **水分**を十分にとる
- ⑤ 頭在意識にも、意思表示をして認識させてから始める
「私は、今からセルフ筋肉反射チェックをします！」
- ⑥ 反転していないか事前に確認してから筋反射テストを始める
「Yes」 → 前に倒れたらOK。





筋反射の前準備 (座って)

①ネックレスや指輪、時計など貴金属を外す

②任脈・督脈、体の3軸（横軸、縦軸、前後軸）を整える

〈座って、自分の利き腕ではない腕の盛りあがっている部分に、利き腕の手を軽くのせる〉

③定位置を確認：「自分の定位置を教えてください」

→利き腕の手で軽く押してみてもまるところが自分の定位置となる

④任脈チェック：任脈をあげる（整える）

→利き腕の手で軽く押してみても落ちなければOK（任脈整っている）

⑤水分チェック：自分の髪の毛を触って落ちなければOK（水分足りている）

⑥反転チェック：「Yes」→定位置でとまればOK、「NO」→下がればOK

「私は、〇〇（名前）です。」→定位置でとまればOK

筋反射の前準備 (座って)



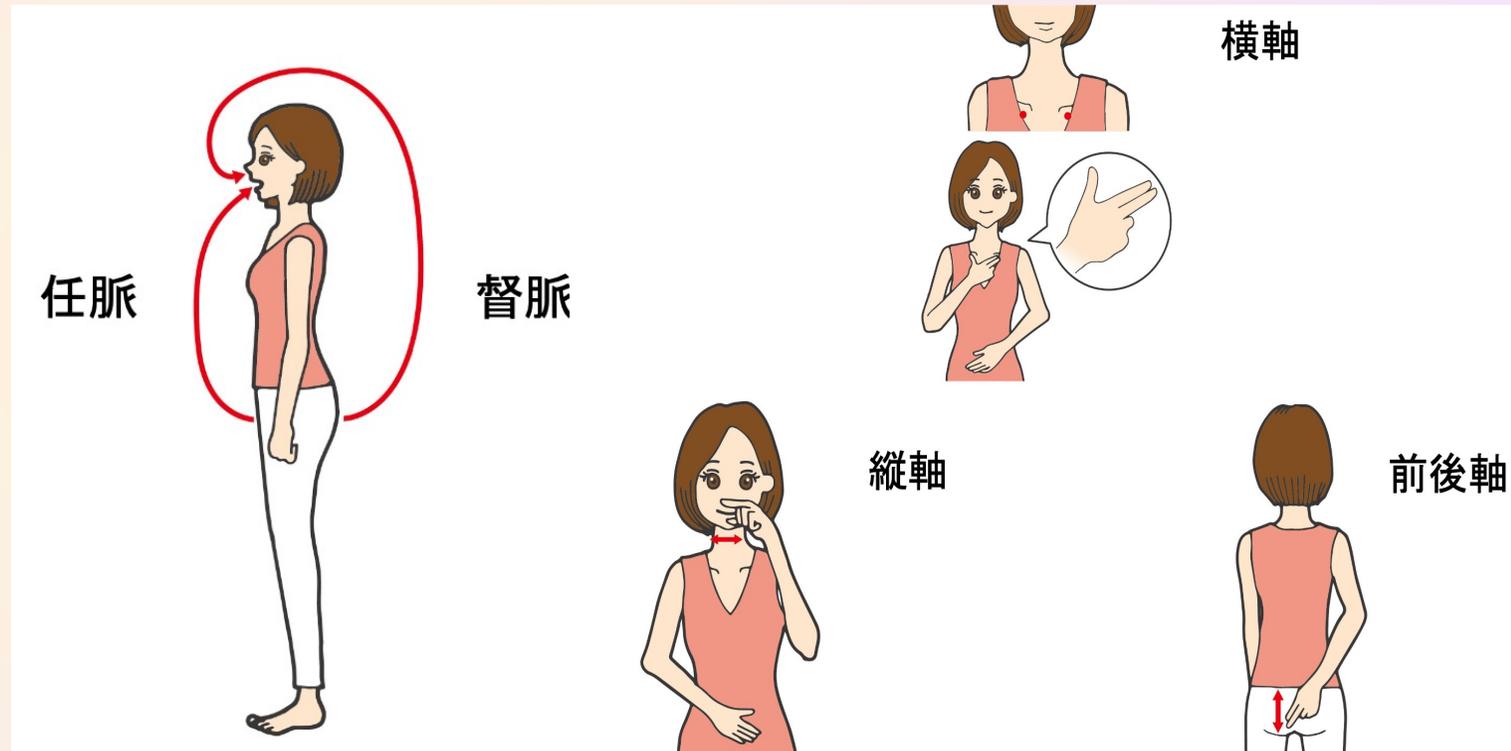
①ネックレスや指輪、時計など貴金属を外す



筋反射の前準備 (座って)



②任脈・督脈、体の3軸
(横軸、縦軸、前後軸)
を整える



筋反射の前準備 (座って)



〈座って、自分の利き腕ではない腕の盛りあがっている部分に、
利き腕の手を軽くのせて押す〉

【押すときのポイント】

- * 力を入れない（圧をちょっとかける感じ、バウンドしない）
- * しっかりと密着させる
- * 利き手ではない肘は伸ばす
- * 利き手の肘は曲げる

筋反射の前準備 (座って)



③定位置を確認：「自分の定位置を教えてください」

→利き腕の手で軽く押してみて、とまるところが自分の定位置となる

*人によって定位置が違う

*日によって定位置が変わることがある

*繊細な問いの時は、反応が鈍ることがある

筋反射の前準備 (座って)



④任脈チェック：任脈をあげる（整える）

→利き腕の手で軽く押してみても落ちなければOK（任脈整っている）

*落ちた場合は、再度任脈・督脈を整えてお水も飲んで、再チェックする

⑤水分チェック：自分の髪の毛を触って落ちなければOK（水分足りている）

*落ちた場合（水分不十分）は、再度水を飲んで、再チェックする

⑥反転チェック：「Yes」→定位置でとまればOK、「NO」→下がればOK

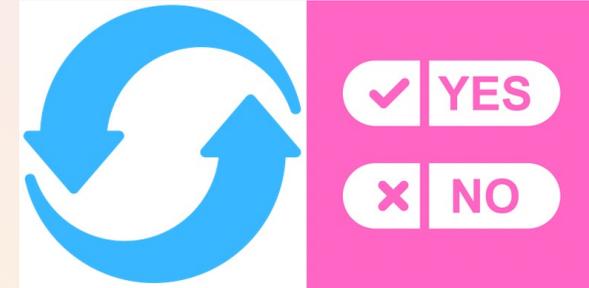
「私は、〇〇（名前）です。」→定位置でとまればOK

もし反転していたら…



1、各項目を再度チェックする。

- ①ネックレスや指輪、時計など貴金属を外れているか
- ②任脈・督脈、体の3軸を再度整える
- ③水分をさらにとる



2、顕在意識にも、意思表示をして認識させる

「私は、今から筋肉反射チェックをします！」

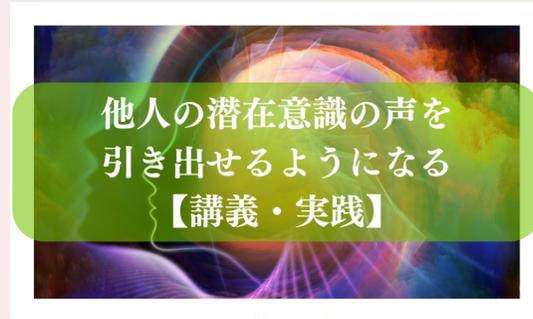
3、「私は、素直な気持ちで自分を信頼して反応を受け取ります。」

4、さらに、耳つぼを刺激して、全身を整える。

5、「YES」「NO」自分の名前を聞いて、反転していないか再度確認する。



内容



1 回目

- ① カウンセリングする時の大切なマインド（心構え）
- ② 座っての筋肉反射の前準備
- ③ 座っての筋肉反射のやり方と実践
- ④ 遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と実践



筋反射チェックの3つの方法



- ①ストレス反応： どのようなストレスがあるのがチェックする方法
- ②共鳴反応： ストレスでもなく、良いとか悪いでもなく、
共鳴しているキーワードを拾う方法
- ③質問反応： 「～ですか？」と聞き、最終確認する方法



筋反射チェックの1つ目

①ストレス反応：どういうストレスがあるのがチェックする方法

A. 「ストレス反応チェックします」と体に言う。

B. 「〇〇」（イメージでも言ってもOK）

→ON（定位置のまま、反応なし）→ストレスなし

OFF（おちる、反応あり）→ストレスあり

例) 「お酒」→おちたら（反応あり）→ストレスがあるということ

「魚」→おちない（反応なし）→ストレスがない、嫌いじゃないということ



筋反射チェックの2つ目

②共鳴反応：ストレスでもなく、良いとか悪いでもなく、
共鳴しているキーワードを拾える方法

A. 「〇〇を教えてください」→YES（定位置でとまる）

例えば「課題を教えてください。」 「自分に合う食べ物を教えてください。」

B. 「共鳴反応でとっていきます」と体に宣言する

C. 「〇〇」＊必ず単語で聞く＊文章では聞かない＊～ですか？と質問しない

→ON（定位置のまま、反応なし）→答えではない

OFF（おちる、反応あり）→答えの可能性あり

例) 「健康」→おちたら（反応あり）→課題だということ

「人間関係」→おちない（反応なし）→課題ではないということ



筋反射チェックの3つ目

③質問反応：「～ですか？」と聞き、最終確認する方法

A.②の共鳴反応で反応した（おちた）もの「〇〇」を
「〇〇でいいですか？」

→ON（定位置のまま、反応なし）→YES（はい、そうです）

OFF（おちる、反応あり）→NO（いいえ、違います）

B.②の共鳴反応で反応したOFF（おちる）ものが、OFF（おちる、反応あり）→
NO（いいえ、違います）となった場合

言葉を変えて、②共鳴反応で探して③質問反応で確認する作業を行う

例) 「今の課題は健康でいいですか？」→おちない（反応なし）YES 課題でいいということ。→おちる（反応あり）NO課題ではないということ。言葉や表現を変えて、②共鳴反応③質問反応で最終確認して確定する

筋反射の前準備（任脈・督脈・3軸整え、水を飲んだ上）

ON 「反応なし・定位置のまま」 OFF 「反応あり・おちる」

【定位置確認】 自分の定位置を教えてください。

【任脈チェック】 任脈をあげる（整える）

ON→整っている OFF→整っていない

【水分チェック】 髪の毛ひっぱる

ON→十分 OFF→不十分

【反転チェック】 YES・NOチェック

イエスでON & ノーでOFF →正常

「私は○○（名前）です」でON→正常

筋反射チェック

【ストレス反応】 ストレスがあるものを教えてください。

ON (反応なし) → ストレスなし

OFF (反応あり) → **ストレスあり**

【共鳴反応】 単語で聞く、～ですか？と質問しない。

ON (反応なし) → 答えではない

OFF (反応あり) → **答えの可能性あり**

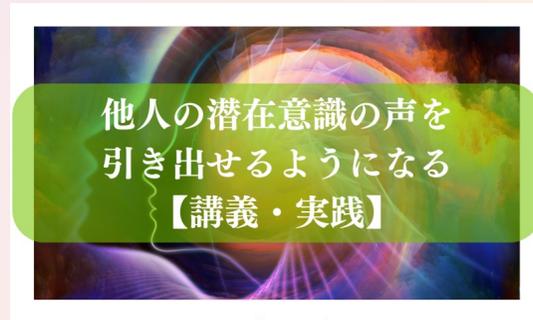
【質問反応】 ～ですか？～でいいですか？と聞き最終確認する

【宣言反応】 ～です。

ON (反応なし) → **YES はい、そうです。**

OFF (反応あり) → **NO いいえ、違います。**

内容



1 回目

- ①カウンセリングする時の大切なマインド（心構え）
- ②座っての筋肉反射の前準備
- ③座っての筋肉反射のやり方と実践
- ④遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と実践





遠隔で他人の潜在意識に アクセスする方法

- ①自分のエネルギー（波動）をオンライン上のクライアントさんに移動させる。
- ②クライアントさんに入ったエネルギーを再度自分に戻す。
- ③「〇〇さんの潜在意識の情報をとらせてもらってもいいですか？」→YES（定位置でとまる）と、代理テストの準備OK。
- ④【定位置確認】 「定位置を教えてください。」→とまってYES
【水分チェック】 髪の毛ひっぱって、とまってYES（OK）
【反転チェック】 「YES」→とまる& 「NO」→おちるでOK
- ⑤終わったら、必ず相手にエネルギーを返すことを忘れずに！
返したら【反転チェック】 「私は〇〇（自分の名前）です。」
→定位置でとまればOK

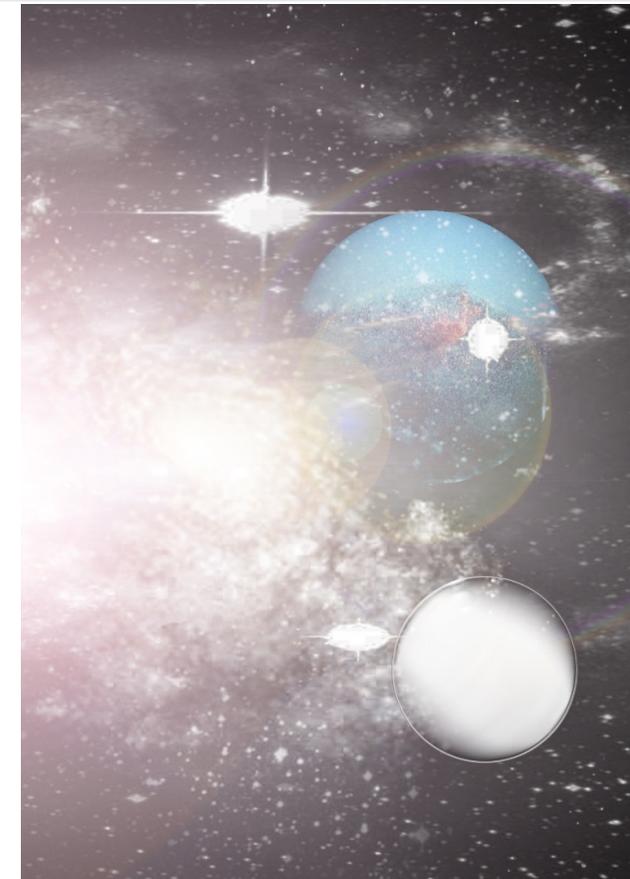
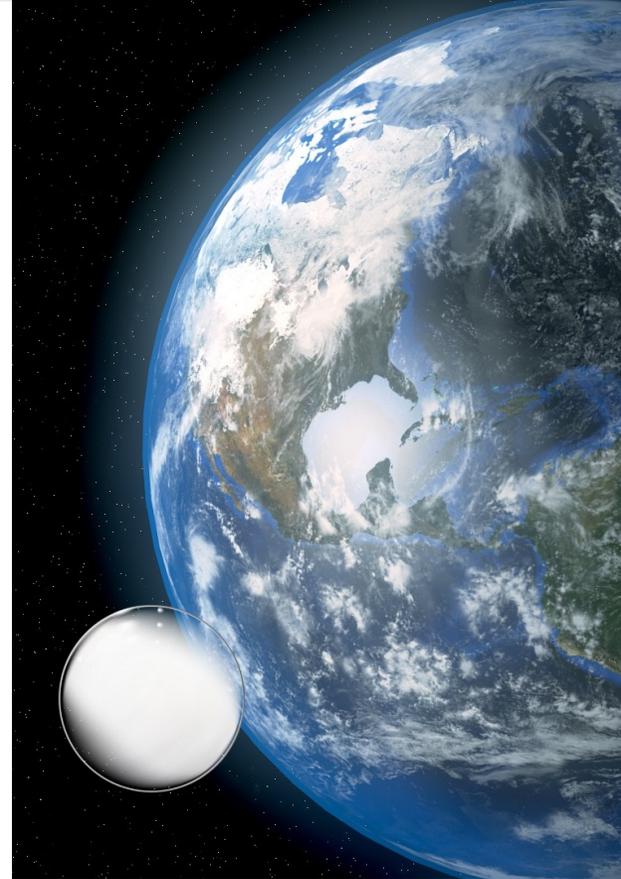




①自分のエネルギー（波動）を
オンライン上のクライアントさん
に移動させる。

A.まず目を閉じて、自分の中の
光（白い球）みたいなものを
イメージする。

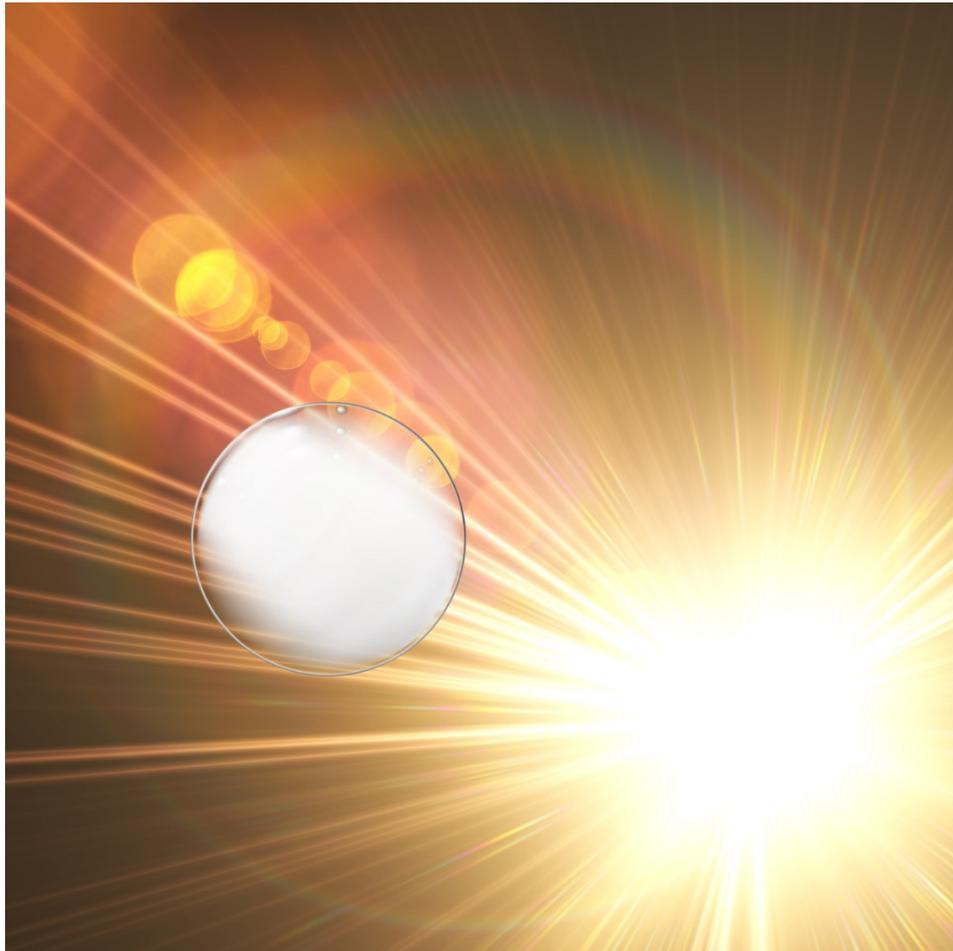




B. 自分の白い光（球）みたいなものがず〜っとあがって行って、雲の上、空を超えて、地球を離れて、宇宙にいて、宇宙にある光に向かっていくイメージをする。



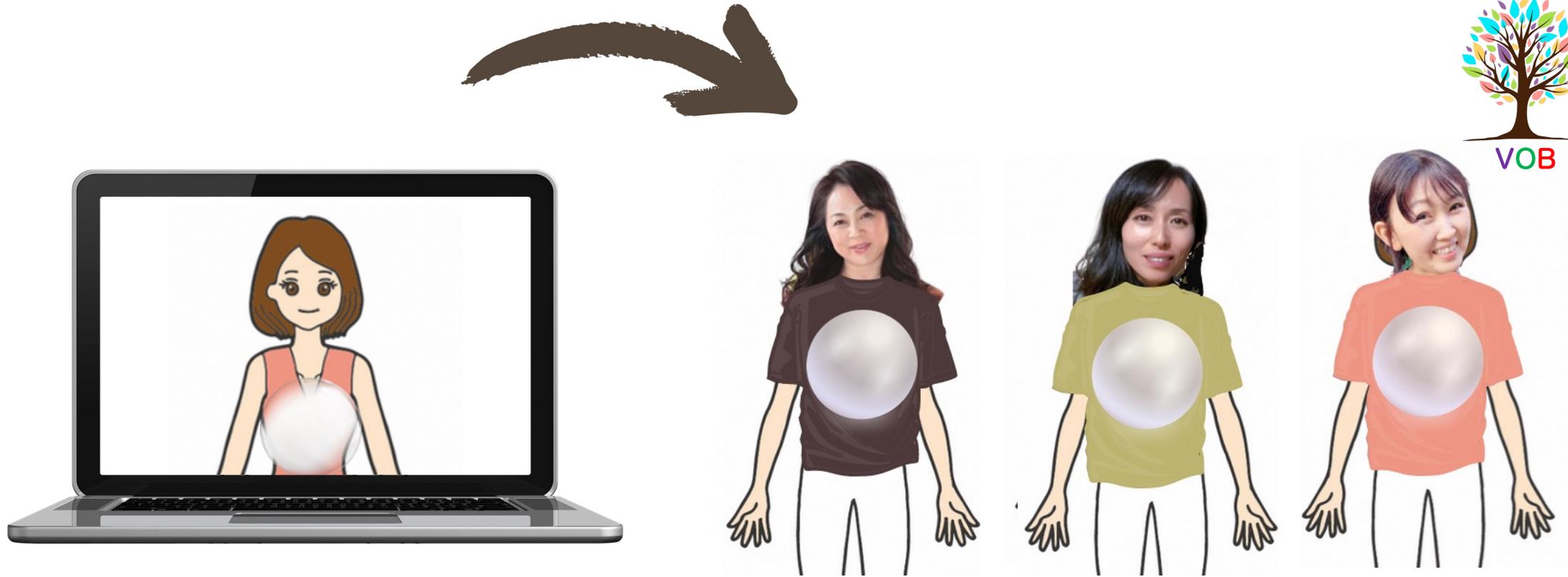
C. 宇宙の白い光のところまでしっかりと行き着いたのをイメージできたら
今度は、おりていく。宇宙から地球に戻って…





D. 雲の上まで戻って、雲の下、そして、
オンライン上のクライアントさんに入っていくというイメージをする。

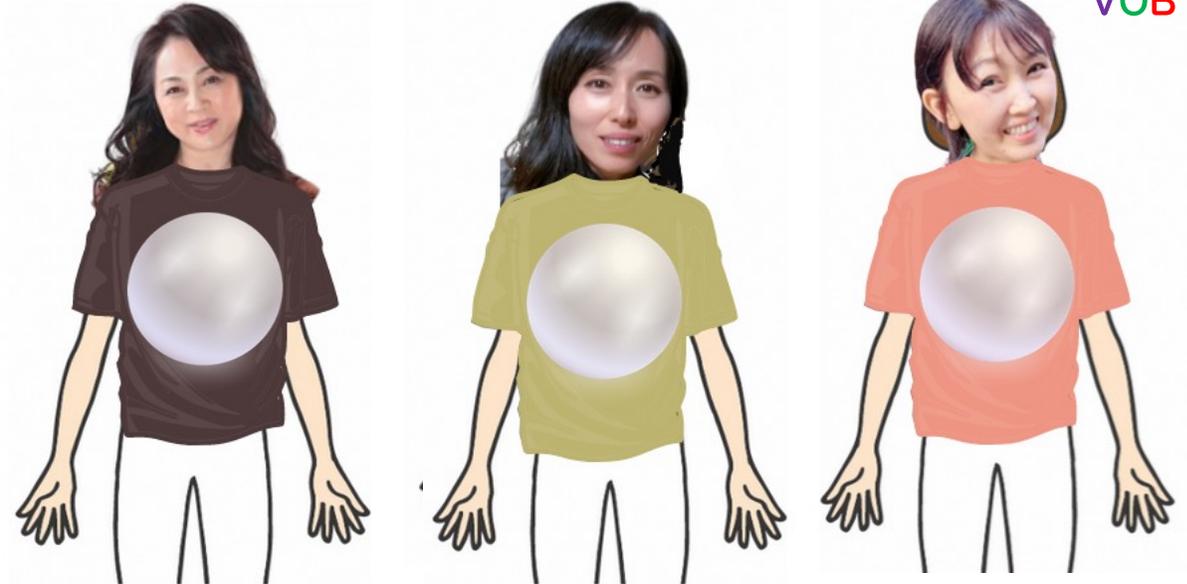




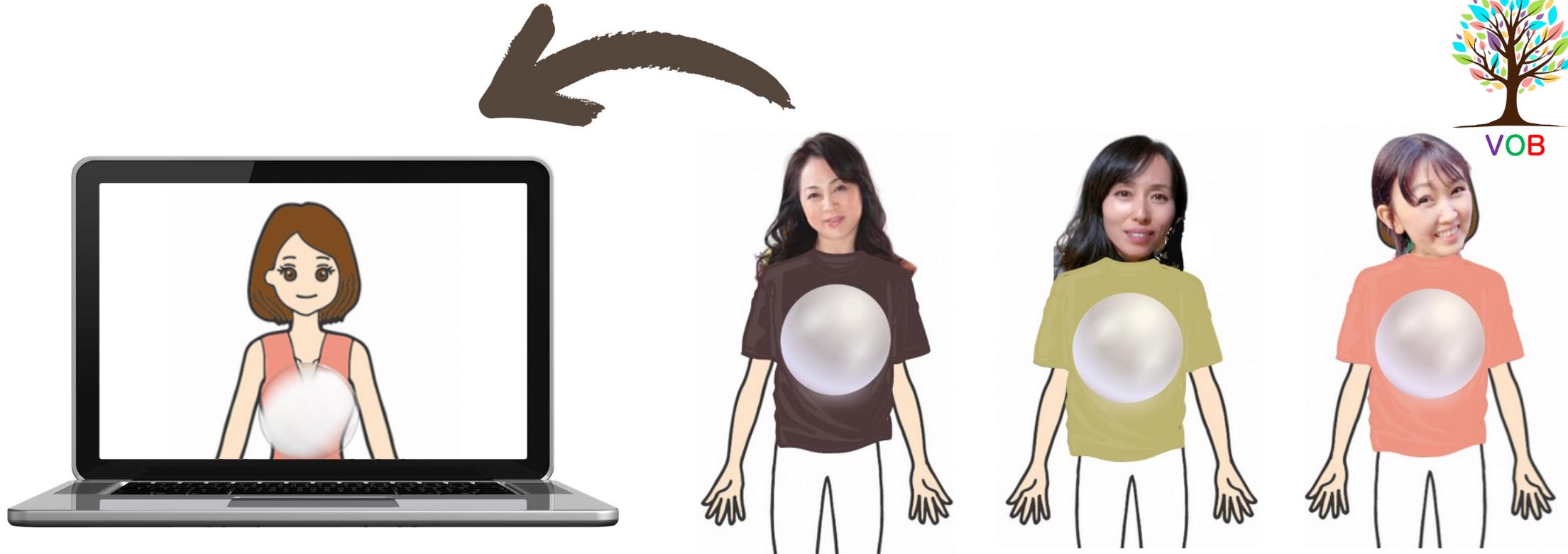
②クライアントさんに入ったエネルギーを再度自分に戻す。

クライアントさんにある白い玉をどんどんあげて行って、雲の空、空を超えて、地球を離れて、宇宙にいて、宇宙にある光にしっかりと行き着いたのをイメージしたら、地球に戻って、どんどんさがり、自分の体に白い玉が戻ってくるイメージをする。

代理テストの準備完了&正常に筋反射がとれる確認



- ③ 「〇〇さんの潜在意識の情報をとらせてもらってもいいですか？」
→YES（定位置でとまる）と、代理テストの準備OK。
- ④ 【定位置確認】 「定位置を教えてください。」 →とまってYES
【水分チェック】 髪の毛ひっぱって、とまってYES (OK)
【反転チェック】 「YES」 →とまる& 「NO」 →おちるでOK



- ⑤終わったら、必ず相手にエネルギーを返すことを忘れずに！
（カウンセリング中にできなかった場合は、終わってから行ってもいい）

エネルギーを相手に返したら

【反転チェック】

「私は〇〇（自分の名前）です。」→定位置でとまればOK

実践してみよう！



遠隔で他人の潜在意識に アクセルする方法

- ①自分のエネルギー（波動）をオンライン上のクライアントさんに移動させる。
- ②クライアントさんに入ったエネルギーを再度自分に戻す。
- ③「〇〇さんの潜在意識の情報をとらせてもらってもいいですか？」→YES（定位置でとまる）と、代理テストの準備OK。
- ④【定位置確認】「定位置を教えてください。」→とまってYES
【水分チェック】髪の毛ひっぱって、とまってYES（OK）
【反転チェック】「YES」→とまる&「NO」→おちるでOK
- ⑤終わったら、必ず相手にエネルギーを返すことを忘れずに！
返したら【反転チェック】「私は〇〇（自分の名前）です。」
→定位置でとまればOK



実践の手順



準備：代理テストの準備を口に出しながら行ったあと、相手へのヒアリングをする

例：「よく食べている食べ物って何ですか？」

「自分の体に合っているのか知りたい食べ物ってありますか？」

「自分に必要なのかなと思う食べ物って、何か思い浮かんだりしますか？」

ヒアリングから、出てきた食べ物をメモしておく。

「これから、〇〇さんに合っている食べ物、必要な食べ物を引き出していってまいりますね。」

実践の手順



①【共鳴反応】で共鳴しているキーワードを拾う

A. 「体に合っている食べ物を教えてください。」→YES（定位置でとまる）

「体に必要な食べ物を教えてください。」→YES（定位置でとまる）

B. 「共鳴反応でとっていきます」と体に宣言する

C. 「〇〇」＊必ず単語で聞く＊文章では聞かない＊～ですか？と質問しない

→ON（定位置のまま、反応なし）→答えではない

OFF（おちる、反応あり）→答えの可能性あり

例：「アボガド」→ON（答えではない）OFF（答えの可能性あり）

②【質問反応】で、最終確認する

①のCの共鳴反応でOFF（おちた）もの「〇〇」を「〇〇でいいですか？」と聞き

→ON（定位置のまま、反応なし）→YES（はい、そうです）

OFF（おちる、反応あり）→NO（いいえ、違います）

例：「アボガドでいいですか？」→ON（YES、はい）OFF（NO、いいえ）

＊もし、OFF（おちる、反応あり）→NO（いいえ、違います）となった場合は、言葉を変えて、①のC共鳴反応で探して②質問反応で確認する作業を行う。

シェアとQ&A



一番役に立った話は何ですか？

質問や疑問点などはありませんか？

次回までに取り組んでみたいことは何ですか？

スケジュール

1ヶ月目

1回目 1/24 (水) 20時

カウンセリングの時の大切なマインド (心構え)
座っての筋肉反射の前準備
座っての筋肉反射のやり方と実践
遠隔で他人の潜在意識にアクセスする方法と実践

2ヶ月目

2回目 2/28 (水) 20時

カードセラピーのやり方と実践
前世セラピーのやり方と実践
他人の体をスキャンする方法と実践

3ヶ月目

3回目 3/27 (水) 20時

カウンセリングで重要な5W1H、オーム返しなどの解説と実践
フルカウンセリングのやり方と実践

4ヶ月目

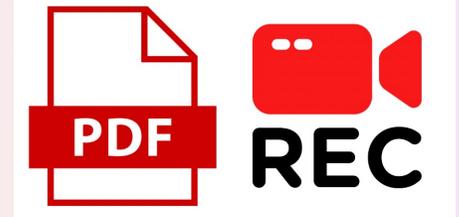
4回目 4/17 (水) 20時

クライアントが気づきを得るためのテクニックと実践
30分カウンセリングのやり方と実践
総仕上げ

今日の講義終了後



1、講義の資料PDFと動画お渡し

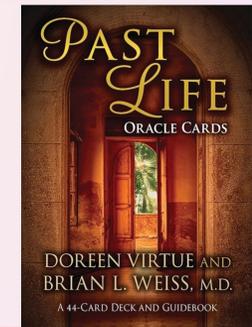


2、アンケート回答リンク



ぜひ、素直なフィードバックをください！

3、前世セラピーで使用するカード（任意）
の詳細



4、質問は**無制限**



著作権について



このテキストに含まれる一切の内容に関する著作権は、Voice Of Blooming運営会社であるMeridian Reiki LCに帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このテキストの全部または一部を複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行なった場合には、関係法令に基づき、民法、刑法を問わず法的責任を負うことがあります。

テキスト作成者は、このテキストの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このテキストに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとしします。

Thank You!

